

もっと知ってほしい、デイケアだからできること。

ほほえみ通信+

ぶらす

hohoemi



vol.07

Dec. 2019

西宮協立デイケアセンター ほほえみ
西宮市津門呉羽町10-13
TEL:0798-36-6780 FAX:0798-36-6766

西宮協立デイケアセンター 第2ほほえみ
西宮市津門呉羽町9-10 1F
TEL:0798-33-3501 FAX:0798-33-3502

例

- ・顔を洗う
- ・お風呂に入る
- ・散髪に行く
- ・電車で通勤をする
- ・囲碁クラブへ行く などなど



生活行為

家事 仕事
セルフケア 余暇
地域活動

生活行為とは

生活行為とは身の回りの動作だけでなく家事や仕事、趣味活動まで生活全般の行為のことを言います。

生活行為向上 リハビリテーションについて



特徴やメリット

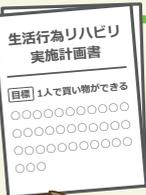
- ① 生活行為に焦点をあてた計画書を作成
- ② 自宅やその周辺、必要に応じ公共交通機関など実際の場所へ訪問し、評価します
- ③ 上記②を踏まえた通所での動作練習を実施
- ④ 基本は6ヶ月間で卒業します
- ⑤ 要支援も対象になります



生活行為リハビリテーションの流れ

目標とする生活に向けて、専門的な知識・経験を有する作業療法士または生活行為向上リハの研修を修了した理学療法士・言語聴覚士がプログラムを作成。個別のリハビリや通所リハ内での生活リハビリ、またご自宅や外出先などを想定してのプログラムを計画・実施していきます。

はじめに



- ・生活行為の聞き取り
- ・目標の設定
- ・専門のリハビリスタッフとプログラム作成



基本6ヶ月間

- ・生活行為向上リハビリ実施
 - ① 通所訓練期
 - ② 社会適応期
- ・施設での基本練習や目標に沿った実践練習

詳しくは裏面へ!

6ヶ月後

- 役割づくり
- 通所介護
- 地域の通いの場 (自治会、サロン)

デイケア利用の実例

生活行為を焦点に職場復帰・家事自立につながった事例



対象

プロフィール

会社勤務(妻、子どもと4人暮らし)

年齢：44歳

介護度：要介護1

疾患名：脳梗塞、左片麻痺

職場復帰が目標。ご本人は「どれくらいの期間で、何ができるようになるのか」など不安あり。生活状況の確認や通勤方法の検討をして、生活行為向上リハビリテーションの計画を作成した。

通所訓練期

1

〈目標〉
移動動作の安定性向上



デイケア 和式生活のため、床からの立ち上がり練習、応用歩行練習、握る・つまむなど手の機能練習。

ご自宅 床上動作や応用歩行、手の機能練習などデイケアで行った練習を実生活で行ってもらう

通所訓練期

2

〈目標〉
不整地歩行の安定、麻痺手使用



デイケア 傘の使用や混雑した場所の歩行練習。上肢機能練習や、復職に向けたスーツの更衣練習を実施。

ご自宅 日常生活における手の使用頻度チェックや課題の洗い出し。

結果

電車、エスカレーターの利用や両手で顔を洗うことが可能になった。

結果

傘をさして歩行、スーツの更衣・爪切り・財布操作などが可能に

社会適応期

3

〈目標〉
復職に向けて最終確認



デイケア 上肢機能練習もかねた食器洗いの練習を実施。お盆などの運搬動作練習も行った。

ご自宅 特に電車通勤の練習を積極的に行われていた。

結果

週2回の勤務開始、電車を利用した通勤、社員食堂での食事可能

まとめ

修了時の状況として、スーツの更衣、人混みを歩く、交通機関の利用などが可能となり、職場復帰ができた。左手は補助手から一部実用手として爪切りや財布操作が可能となった。生活行為向上リハでは「生活」を見据えた機能訓練や実践的な動作練習を提供しているが、今回のようにご本人のチャレンジ意欲が高いことも復職につながる要因と言える。